

道の駅遠山郷の利用状況等について

産業経済部 遠山郷観光振興室

1 令和7年度指定管理実績

(1) 指定管理の概要について

- ① 対象施設 道の駅遠山郷
- ② 指定管理者 株式会社 遠山GO (1年目)
- ③ 指定期間 令和7年9月1日～令和11年3月31日 (3年7ヵ月間)
- ④ 指定管理料 13,570,000円
- ⑤ 業務内容 道の駅遠山郷の施設管理及び運営、その他関連業務

(2) 運営状況について

令和7年秋のグランドオープンに向け整備を進めてきた道の駅遠山郷は、同年7月末に整備事業が竣工し、9月1日より指定管理者である株式会社遠山GOによる管理運営を開始した。

同年9月には、グランドオープンに向けた広報宣伝活動の一環及び開業準備の総仕上げとして、10日間のプレオープンを実施し、来場者の評価を運営に反映する体制を整えたうえで、10月4日にグランドオープンを迎えた。

令和7年度における温泉施設「かぐらの湯」の利用者数は、目標値である28,000人を上回る34,085人に達し、「塩の温泉」の復活を待ち望んでいた地域内外の多くの皆様にご利用いただいた。また、食堂施設においては、地元食材を使った郷土料理やジビエ料理の提供をはじめ、限定メニューの開発・提供などにより、利用者は23,064人となった。物品販売施設では、地元農産物や土産品のほか、遠州・東三河地域の物産の販売に加え、関係団体と連携した新商品の開発・販売を行うとともに、自主事業による買い物困難者への対応として、食品や日用品、雑貨等の販売を行った結果、利用者は46,764人となった。

運営体制については、開業初期の混雑への対応及び安定的なサービス提供を図るため、事業計画を上回るパート雇用を創出し、施設従事者37人のすべてを地元雇用として確保した。

令和7年度については、開業効果や指定管理者による自主事業の展開等により、目標を上回る集客を達成したものの、想定以上の初期需要の対応に伴い、清掃道具等の各種消耗品費や商品仕入れ等の運営に関する諸経費が増加した。さらに、人件費の増加や物価高騰に伴う調達コストの上昇に加え、温泉利用人数の増加に伴う灯油ボイラーの稼働によって燃料費が当初計画を上回ったことなどから、収支は△5,220千円となった。

① 利用者数

- ・温泉施設：利用人数 34,085人 (令和7年度目標者数 28,000人 121.7%)
- ・食堂施設：利用人数 23,064人
- ・物品販売施設：利用者 46,764人

② 自主事業

- ・地元関係団体と連携し、「輪っしょい遠山」の開催（11/2）
- ・地域の買い物困難者を出さないための食品、日用品及び雑貨等の販売
- ・ツーリングライダーのニーズ調査の実施

③ 収支について

○道の駅遠山郷

収入： 104,206 千円（温泉施設利用料金 33,838 千円、食堂施設売上 29,444 千円、物販販売施設売上 20,898 千円、指定管理料 13,570 千円、その他雑収入 6,456 千円）

支出： 109,426 千円（温泉施設仕入原価 1,134 千円、食堂施設仕入原価 12,828 千円、物品販売施設仕入原価 18,572 千円、人件費 38,867 千円、需用費 5,672 千円、燃料費 9,762 千円、光熱水費 12,628 千円、役務費 2,308 千円、委託料 1,053 千円、賃借料 2,757 千円、負担金 26 千円、管理諸費 2,585 千円、租税公課 1,234 千円）

差引：△ 5,220 千円（令和 7 年 9 月 年度協定締結時の収支計画 △7,187 千円）

（3）今後の取組

令和 8 年度においては、地元関係団体との連携を強化し、賑わいイベントの定期開催や伝統芸能「霜月祭り」の公演、さらには「遠山ジンギス」を活用した手ぶら焼肉や魚のつかみ取りといった交流体験メニューを拡充し、観光交流拠点としての機能を一段と発揮させていく。

温泉施設では、徹底した衛生管理を継続するとともに、近隣施設と連携したスタンプラリーの実施など広域的な集客を図る。食堂施設では、引き続き地元食材を活用した郷土料理や季節限定メニューの開発等を通じて利用者満足度の向上に努める。また、物品販売施設においては、農産物出荷組合との連携強化や三遠南信地域の特産品・名品コーナーの拡充、物産展の開催を通じ、新たな客層の獲得に向けた取組を進める。

当施設が「信州の南の玄関口」の観光交流拠点として重要な役割を果たすべく、地元関係団体との連携を強化し、三遠南信地域をはじめとする広域的な交流による誘客促進と地域振興に資する取組を協働して推進する。さらに、初年度の実績を分析し経営の安定化と持続可能な運営体制の確立を目指していく。

2 参考

温泉施設の月別利用者数・利用種別

(単位：人)

月(営業日数)	合計(日利用)	対前年度比(%)	一般	回数券	その他利用券等
9月(10)	3,316(331)	—	3,310	3	3
10月(24)	6,874(286)	—	4,909	1,366	599
11月(26)	7,125(274)	—	4,992	1,686	447
12月(27)	4,505(166)	—	2,247	2,040	218
1月(26)	4,082(157)	—	1,906	1,894	282
2月(20)	3,089(154)	—	1,515	1,400	174
3月(23)	5,094(221)	—	2,695	2,173	226
合計(156)	34,085(218)	—	21,574	10,562	1,949
前年度(-)	—(-)	—	—	—	—
前年度比(%)	—	—	—	—	—

食堂施設の月別利用者数・利用種別

(単位：人)

月(営業日数)	合計(日利用)	対前年度比(%)	昼営業	夜営業
9月(10)	3,247(324)	—	3,247	—
10月(24)	4,533(188)	—	3,416	1,117
11月(26)	4,938(189)	—	3,732	1,206
12月(27)	2,674(99)	—	1,863	811
1月(26)	1,857(71)	—	1,426	431
2月(20)	1,764(88)	—	1,404	360
3月(23)	4,051(176)	—	3,227	824
合計(156)	23,064(147)	—	18,315	4,749
前年度(-)	—(-)	—	—	—
前年度比(%)	—	—	—	—

物品販売施設の月別利用者数 (単位：人)

月(営業日数)	合計(日利用)	対前年度比(%)
9月(10)	4,985(498)	—
10月(24)	8,997(374)	—
11月(26)	9,251(355)	—
12月(27)	6,195(229)	—
1月(26)	4,885(187)	—
2月(20)	4,736(236)	—
3月(23)	7,715(335)	—
合計(156)	46,764(299)	—
前年度(-)	—(-)	—
前年度比(%)	—	—